

被災地支援のため熊本県宇城市に市職員を派遣

令和8年熊本地震に伴う被災地支援として、8月25日から9月1日(現地での活動期間は26日から31日)まで熊本県宇城市(対口支援自治体)へ市職員3人を派遣しました。

職員は、被災した家屋の被害状況を確認し、罹災証明書の発行に必要となる全壊・半壊などの被害判定を行う家屋被害調査に従事しました。

市では、今後も被災地の状況を踏まえ、必要に応じて職員派遣などの支援を行っていきます。また、避難を希望される方の受け入れ先として、市営住宅5戸を提供できるよう準備を整えています。災害義援金についても、7月31日から受け付けています。

令和8年
熊本地震に係る支援▶



現地活動報告レポート

被災から約1カ月が経過した現地では、陥没した道路や倒壊した電柱、柱が折れて一階部分が全て倒壊した家屋など地震による被害の爪痕が各所に残されていました。

連日38度を超す猛暑で片付けもままならず、食器などの家財道具が散乱した現地で車中泊を続けている被災者もおられました。そのような中で活動している際に、被災された方から「遠く兵庫県からありがとう」と温かい言葉をかけていただく場面もありました。

被災地の日も早い復旧・復興を願いながら、支援活動に取り組みました。



“市民会館 ひとやすみ”しています

豊岡市民会館リニューアル整備の「事業ロゴマーク」を作成しました。ホール棟とコウノトリのレリーフをモチーフに、目を閉じ、夢を見ている姿をイメージしたロゴマークです。2026年4月から休館している豊岡市民会館の再開までの期間を、これまでを振り返り、これからの姿を思い描く時間と捉え「市民会館ひとやすみ」というメッセージを添えました。

休館中も、会館の歴史や会館にまつわるさまざまな思い出、リニューアルへの期待や思いを通して、市民の皆さんと一緒に市民会館の未来を考える時間をつくっていきます。

なお、リニューアルオープンとは2031年1月頃を想定しています。皆さんが集い、交流の輪が広がる市民会館となる日を、楽しみにお待ちください。

また、市民会館に関する状況を随時お届けするため、特設サイトを開設しました。少しずつ更新しますので、ときどきのぞいてみてください。



市民会館
ひとやすみ

▲事業ロゴマーク



リニューアル整備
特設サイト▶

豊岡市
SNS



各施設・
事業の
SNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採
用しています。



環境に優しいベジタブルインキで
印刷しています。